

各種相談事業、研修

1 各種相談事業

	内容	実績
子供の健康相談室 (小児救急相談) #8000	子供の健康に関する様々な不安や悩みを身近なところで解消し、小児救急医療に関する初期の段階で安心を確保することを目的に、区市町村や都保健所の閉庁する平日夜間及び休日に行う電話相談。 (平成27年度までは「母と子の健康相談室(小児救急相談)」として行っていたが、平成28年度より、他の相談窓口が充実してきたことを踏まえ、名称を変更。小児の救急や健康に関する相談を主に、時間帯延長・回線数を増やし対応。) ・月から金曜日(休日を除く) 18時から23時まで ・土日・休日・年末年始 9時から23時まで	【平成29年度】 (平成29年12月末まで) 総件数 67,676件 内:小児救急 65,894件 【平成28年度】 総件数 68,630件 内:小児救急 66,020件
SIDS電話相談	SIDSをはじめ、その他の病気・事故・流産・死産などで赤ちゃんを亡くされたご家族の精神的支援を目的とした専門家等(保健師又は助産師、NPO法人SIDS家族の会の会員)による電話相談。 毎週金曜日、10時から16時まで(休日、年末年始を除く)。	【平成29年度】 (平成29年12月末まで) 実施回数 35回、相談件数 52件 【平成28年度】 実施回数 50回、相談件数 69件
TOKYO子育て情報サービス	安心して楽しく子育てができるよう、妊娠、子育て及び事故防止等に関する情報を365日24時間、インターネット及び電話により提供している。 平成25年4月1日よりインターネットによる情報提供を開始。 平成27年3月31日をもってFAXによる情報提供を終了。	【平成29年度】(29年12月まで) 7,140件 内訳:電話 1,045件 WEB 6,095件 【平成28年度】 10,864件 内訳:電話 1,637件 WEB 9,227件

2 研修

	対象	目的、内容
母子保健研修	都、区市町村、医療機関等の母子保健従事者	最新の母子保健に関する専門知識や技術を提供し、母子保健医療の一層の向上を図る。
児童虐待対応研修	東京都内医療機関の医師、歯科医師、助産師、看護師、医療ソーシャルワーカー、児童相談所職員等	児童虐待の発見に関連の深い医療機関関係者に対して、要支援家庭の把握と適切な支援に関する研修を実施することにより、院内虐待対策委員会(CAPS)の運営等において核となる人材の養成や、児童相談所や子供家庭支援センター等の地域の関係機関との連携強化を図り、医療機関における虐待対応力を向上させる。

平成29年度 母子保健研修実績

回	日時	研修名	講師	会場	定員	申込	実績 (全職種)
1	5月31日 (水曜日) 13:30-16:30	乳幼児の発育発達と子育て支援 ～乳幼児健診の 意義とポイント～	あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏	東京都社会福祉 保健医療 研修センター	300	200	202
2	6月13日 (火曜日) 13:30-16:30	産後ケアの推進を目指して	① 上智大学総合人間科学部 看護学科 教授 島田 真理恵 氏 ② 中野区中部すこやか福祉センター 保健師 高橋 かほる 氏	東京ウィメンズ プラザホール	270	165	161
3	7月4日 (火曜日) 13:30-16:30	新生児聴覚スクリーニング ～検査の実際と支援について～	① 国立成育医療研究センター 感覚器・形態外科部耳鼻咽喉科 医長 守本 倫子 氏 ② 都立大塚ろう学校 城南分教室 主幹教諭 松本 典子氏	都民ホール	270	125	128
4	8月8日 (火曜日) 13:30-16:30	妊娠期からの切れ目ない支援 ～医療機関と地域との連携～	大阪母子医療センター 母子保健調査室長 佐藤 拓代 氏	東京都社会 福祉保健医療 研修センター	300	207	192
5	9月5日 (火曜日) 13:30-16:30	社会的養護としての 「家庭的養護」の理解のために	① 福祉保健局少子社会対策部育成支援課 ② 東京都児童相談センター相談援助課	東京都社会 福祉保健医療 研修センター	100	49	49
6	10月3日 (火曜日) 13:30-16:00	周産期の心の問題について 考える ～妊婦自殺の実態に着目して～	順天堂大学医学部産婦人科学講座 特任教授 竹田 省 氏	都民ホール	270	288	269
7	11月6日 (月曜日) 14:00-16:30	妊婦も注意したい性感染症 ～最新のトピックスを中心に～	がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科部長 今村 顕史 氏	東京ウィメンズ プラザホール	270	118	116
8	12月21日 (木曜日) 13:30-16:30	妊娠期からの切れ目ない 支援体制の構築 ～実践事例から考える～	大分県福祉保健部 参事官兼健康づくり支援課長 藤内 修二 氏	東京都子供家庭 総合センター	80	64	60
9	1月30日 (火曜日) 14:00-16:00	思春期からの母子保健対策 ～「望まない妊娠」に焦点をあてて～	総合母子保健センター愛育病院 院長 安達 知子 氏	都民ホール	270	207	190
10	2月20日 (火曜日) 13:30-16:30	「育てにくさ」を感じる 親に寄り添う ～早期発見・早期支援のために～	国立成育医療研究センター 副院長 こころの診療部 部長 小枝 達也 氏	都民ホール	270	138	
合 計					2,400	1,561	1,367

※ 受講対象者は、東京都・区市町村の母子保健医療従事者（医師、保健師、助産師、看護師、栄養士、歯科衛生士、保育士、児童福祉従事者 等）

第1回は、都内乳幼児健診受託医療機関職員含む

第2・3・4・6・7回は、都内妊婦健康診査実施医療機関職員含む。

第9回は、都内高校・大学の職員、都内の妊婦健診実施医療機関職員含む。

平成29年度 児童虐待対応研修実績

回	開催日時	研修会場	研修テーマ	講師	参加実績
基礎講座第1回	5/23(火) 18:30～20:30	東京 ウイメンズ プラザ	医療機関における児童虐待対応と医学診断	おかだこどもの森クリニック 院長 岡田 邦之 氏	208名 (内訳) 医師 23名 看護職 117名 MSW 39名 その他病院職員 21名 歯科医師会 7名 その他 1名 参加医療機関数 96
基礎講座第2回	6/15(木) 13:00～16:15	国分寺市立 いずみホール	児童虐待の現状と東京都の取組	東京都児童相談センター 児童福祉専門課長 大友 桂子 氏	223名 (内訳) 医師 10名 看護職 125名 MSW 55名 その他病院職員 23名 歯科医師会 6名 その他 4名 参加医療機関数 103
			虐待予防のための養育者支援 ～医療機関と地域行政との連携～	とよたまこころの診療所 所長・精神科医 鷺山 拓男 氏	
専門講座第1回	7/10(月) 10:00～16:30	東京 ウイメンズ プラザ	子どもの命を守るためにできること ～司法との連携～	前橋赤十字病院 小児科副部長 溝口 史剛 氏	255名 (内訳) 医師 16名 看護職 128名 MSW 45名 その他病院職員 29名 歯科医師会 10名 その他 27名 参加医療機関数 97
			虐待による乳幼児頭部外傷/乳幼児揺さぶられ 症候群 (AHT/SBS)について	認定NPO法人チャイルドファーストジャパン理事長 山田内科胃腸科クリニック 副院長 山田 不二子 氏	
専門講座第2回	9/14(木) 10:00～16:00	東京 ウイメンズ プラザ	児童虐待対応に必要な法知識	くれたけ法律事務所 弁護士 磯谷 文明 氏	253名 (内訳) 医師 21名 看護職 107名 MSW 55名 その他病院職員 35名 歯科医師会 8名 その他 27名 参加医療機関数 119
			児童虐待を受けた子供の心とケア	駒木野病院 精神科 診療部長 笠原 麻里 氏	
専門講座第3回	11/13(月) 10:00～16:00	牛込筆筈 区民ホール (新宿区)	女性相談センターの役割 ～配偶者暴力相談支援 センターの機能と活動を中心に～	東京都女性相談センター 所長 和田 芳子 氏	263名 (内訳) 医師 19名 看護職 132名 MSW 63名 その他病院職員 20名 歯科医師会 3名 その他 26名 参加医療機関数 110
			DV家庭の子どもの理解と支援 ～世代間伝達と周囲への影響を視野にいれて～	こころとからだ・光の花クリニック 院長 白川 美也子 氏	
専門講座第4回	12/7(木) 18:30～20:30	東京 ウイメンズ プラザ	“育てにくさ”に寄り添う支援 ～医療機関だからできる虐待対策～	あきやま子どもクリニック 院長 秋山 千枝子 氏	191名 (内訳) 医師 24名 看護職 104名 MSW 39名 その他病院職員 15名 歯科医師会 3名 その他 6名 参加医療機関数 73
専門講座第5回	2/6(火) 10:00～16:30	都民ホール	妊娠期からの切れ目ない支援と関係機関連携に ついて～母子保健分野から～	豊島区池袋保健所 健康推進課 保健師 宮川 玲子 氏 杉並区保健福祉部 子育て支援課	193名 (内訳) 医師 18名 看護職 103名 MSW 47名 その他病院職員 13名 歯科医師会 0名 その他 12名 参加医療機関数 91
			“大阪府未受診や飛び込みによる出産実態調査” からみえてきたこと ～特定妊婦への支援と関係機関連携について～	大阪母子医療センター 産科・統括診療局長 光田 信明 氏	
【平成29年度実績】 専門講座第5回まで 参加延数 1586名					1586名 (内訳) 医師 131名 看護職 816名 MSW 343名 その他病院職員 156名 歯科医師会 37名 その他 103名